

年頭のあいさつ

いなべ市長 日沖 靖



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年亥（猪）年。亥は多産で子孫繁栄の象徴であり、亥の子（いのこ）は大地の恵みに感謝する収穫祭を意味し、大泉駅にある農産物直売所も亥の子から「うりぼう」と名付けられています。また、「いなべ」という名は大和朝廷に仕えた豪族「猪名部氏」に由来し、大化の改新により伊勢の国、そして猪名部郡が創られました。和銅6年（713年）、猪名部は員辨に改名されましたが、「猪名部」と表記される神社は藤原町長尾、大安町三里、東員町北大社に3社あります。続日本紀にはこの地の豪族、猪名部百世（ももよ）が当時の国家プロジェクトである奈良東大寺の建築責任者として活躍したとの記述が残されており、猪名部氏が朝廷内でも重要な地位にあったことを知ることができます。

猪に縁の深い「いなべ」のみなさまに幸多い年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

昨年春にオープンいたしました阿下喜温泉は来場者が8万人を超え、「掛け流しのきれいな湯」とご好評をいただいています。今年も休憩所の増設を計画し、藤原の農業公園、青川峡キャンプパークとともに、「いなべ」ブランドの大きな柱に育つものと期待しています。

また、昨年暮れに員弁西保育園の新築工事が始められ、員弁西小学校の建替えに向け大きく弾みがつきました。員弁西小学校の竣工に合わせて、中学校の給食化も計画したいと考えています。

さらに、コミュニティバスの実証運行を昨年員の町に続いて、今年北勢町で開始します。みなさんの気軽な足として多くの方にご利用いただければ幸いです。

今年も市民のみなさんの要望や願いに基づき、みなさんに参画していただきながら、「市民が主役のまちづくり」をすすめていきたいと考えます。みなさんのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

めざせ！いなべ通！！



なつかしの歳時記 1月（睦月）

除夜の鐘で新年を迎える正月元日は、子どもも大人もうれしいものです。

年の初めに、雑煮・おせち料理をいただき、初参り・初詣と皆で新年を祝うのは、昔も今も同じです。

子どもの遊びは大きく変化し、昔は外で遊ぶことが多くどこの地区も遊びの集団があり、年長の先輩から遊びを教えてもらったものです。なかでも年の初めのころは雪が降ると、ソリや竹スキーをつくり、よく滑ったものです。また、知っている方も少なくなっているとは思いますが、藤原岳にはスキー場があり有名なスポットでした。このような土地柄から、国体や県体へ出場するスキー選手も多く輩出しています。



スキー場があった頃の藤原岳（西藤原小学校所蔵）

情報提供者：ふるさと・いなべ市の語り部 日下徳重さん・藤井樹巳さん

員弁庁舎 広報情報課 T 74-5819 F 74-5822

いなべ市消防団および員弁連合消防団出初式

新春を飾る恒例の消防団の出初式を次のとおり行います。

日時 1月21日（日）
10:00～

場所 員弁運動公園体育館
式典 各種表彰の授与、伝達
放水場所 両ヶ池公園（大安町平塚）
※消防車両11台による放水訓練を行います



昨年の放水訓練の様子

員弁庁舎 総務課
T 74-5805 F 74-5800